様式第四　許可申請書（土石の堆積）

土石の堆積に関する工事の許可申請書

記入例

宅地造成及び特定盛土等規制法 {第12条第1項 / 第30条第1項} の規定により、許可を申請します。 令和〇年〇月〇日 目黒区長　あて （株）〇〇不動産 申請者　氏名　代表取締役　〇〇　〇〇	※手数料欄

1	工事主住所氏名（法人役員住所氏名）		（株）〇〇不動産　代表取締役　〇〇　〇〇 （東京都目黒区▲▲〇-〇-〇　）
2	設計者住所氏名		（株）〇〇設計　代表取締役　〇〇　〇〇
3	工事施行者住所氏名		〇〇建設（株）　代表取締役　〇〇　〇〇
4	土地の所在地及び地番（代表地点の緯度経度）		目黒区上目黒二丁目〇番〇、〇 （緯度：北緯 35 度 38 分 28 秒、 経度：東経 139 度 41 分 55 秒）
5	土地の面積		〇〇〇.〇〇平方メートル
6	工事の目的		土砂の保管（近隣工事に伴わないもの）
7 工事の概要	イ　土石の堆積の最大堆積高さ		〇.〇〇メートル
	ロ　土石の堆積を行う土地の面積		〇.〇〇平方メートル
	ハ　土石の堆積の最大堆積土量		〇.〇〇立方メートル
	ニ　土石の堆積を行う土地の最大勾配		〇.〇〇度
	ホ　勾配が十分の一を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置（手引き P. 158）		構台を設置
	ヘ　土石の堆積を行う土地における地盤の改良その他の必要な措置		・砂質土の敷き均し及び締固め ・浅層混合改良 など
	ト　空地の設置	番号	空地の幅
		1	〇.〇〇メートル
	チ　雨水その他の地表水を有効に排除する措置		隣地境界線の内側に雨水側溝を設置
	リ　堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置（手引き P. 159）		鋼矢板を設置
	ヌ　工事中の危害防止のための措置		万能鋼板による仮囲い
	ル　その他の措置		雨水対策として一部を砂利敷とし浸透させる
	ヲ　工事着手予定年月日		令和〇年　〇月　〇日
	ワ　工事完了予定年月日		令和〇年　〇月　〇日
	カ　工程の概要		仮設工→敷均工→鋼矢板工→土砂搬入→撤去
8	その他必要な事項		下水道協議

※受　付　欄	※決　裁　欄	※　許可に当たって付した条件	※許 可 番 号 欄
年　月　日			年　月　日
第　号			第　号
係員氏名			係員氏名

〔注意〕

1　※印のある欄は記入しないでください。

2　申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。

3　1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。

4　3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。

5　4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。

6　7欄リは、鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等についてそれぞれ番号、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入してください。

7　8欄は、土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。

8　本申請書及び添付書類に記載された個人情報は、宅地造成又は特定盛土等規制法の運用を目的として、市町村等の行政機関への情報提供及び許可情報の公表に利用いたします。